

KCGs

～川尻を 変える 目標～

令和4年10月25日
男子 13名 女子 17名
計 30名

1 本単元で目指す児童の姿

自ら課題を設定し、収集した情報を比較・分類、整理・分析し、課題解決の方法を考えて表現する。また、課題解決に向けて協働的に探求活動に取り組み、地域の一員としての自覚をもつとともに、学びを実生活に生かそうとする。

2 単元について

単元観

川尻は、豊かな自然を大切にし、生かすことを通して、地域の活性化につなげるまちづくりを推進している。特に、野呂山は、野路高原ロッジ、キャンプ場などの施設や、ジビエやブルーベリーの特産品を創出するなど川尻町にとって欠かすことのできないものである。本単元では、野呂山の自然・環境について調べることを通して、環境問題に対する課題意識をもたせ、環境のために自分に何ができるかを考え、新聞やプレゼンなどの方法でたくさんの人に発信していくという課題発見・解決学習を行っていく。この探求的な活動を児童が課題意識をもち取り組んでいくことにより、自ら課題を発見し見通しを立てて課題解決をする力、収集した情報を整理・分析し、課題解決の方法を考えて表現する力などの資質・能力を育成することをねらいとしている。また、地域の一員として地域・学校のために何ができるかを考え、行動することができる力の育成もねらいとしている。

児童の実態

本学級の児童は4年生のころ総合的な学習の時間において、自ら立てた課題の解決に向けて、活動や観察したことから気付きや思いなどの情報を整理・分析し、表現する学習はしてきた。しかし、十分な整理・分析ができておらず、表現の段階で適切でない情報を取り入れていた実態があった。

野呂山は、川尻町の自然環境を代表するものであり、春には遠足で登山を行い、秋には野外活動を行う場所でもあり、児童にとって身近なものである。しかし、野呂山の自然環境について詳しく分かっている児童は少ない。

また、自分達の行動が自然環境に影響することを理解している児童はいるが、実際に環境のことを考えて行動している児童は少ない。

指導観

指導にあたっては、「環境のために自分達に何ができるのだろうか。」という単元を貫く問いを児童に意識させ取り組ませる。また、児童にとって身近である野呂山を題材として取り上げることや野呂山ロッジの職員の方と何度も連携を図ることを通して、児童にとって課題の追求・表現の場において主体的な学びにつながるようにしていく。

単元の中で、課題発見⇒情報の収集⇒整理・分析⇒表現の学習過程を繰り返していく中で、身に付けさせたい資質・能力を高めていけるようにする。課題発見においては、地域の方の話や写真などを活用し、児童が自ら問いを生み出せるようにする。情報の整理・分析し、選択するに当たっては、目的に合う情報はどれかという視点で根拠を明確にして話し合わせ、しっかり吟味させる。表現の段階においては、相手によりわかりやすく伝えるにはどのようなことを工夫したらよいか互いに交流し合う中で、改善点を見出し改善を図っていく中で表現力を高めていくようにする。

分かった情報を全体で共有することを通して、児童が自分の考えをもち、交流の場で主体的に問いを追求していけるようにしていく。また、意見が分かれた際には、もう一度グループに戻して対話させることで深く思考させる。

3 単元の目標

- 地域の方の話や資料を通して、地域の自然・環境についての知識を身に付けるとともに、情報を比較・分類するなどの技能を身に付けることができる。【知識及び技能】
- 自ら課題を設定し、収集した情報を整理・分析し、必要な情報を選択するとともに、課題解決の方法を考えて表現することができる。【思考力、判断力、表現力等】
- 課題解決に向けて協働的に探究活動に取り組むことができるとともに、異なる意見や他者の考えを受け入れて課題解決に取り組もうとしている。
- 地域の一員としての自覚をもち、自己の考えや学んだことを実生活に生かそうとしている。【学びに向かう力、人間性等】

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地域の自然・環境についての知識を身に付けるとともに、情報を比較・分類するなどの技能を身に付けている。	自ら課題を設定し、収集した情報を整理・分析し、必要な情報を選択するとともに、課題解決の方法を考えて表現している。	課題解決に向けて協働的に探究活動に取り組むことができるとともに、異なる意見や他者の考えを受け入れて課題解決に取り組もうとしている。 地域の一人としての自覚をもち、自己の考えや学んだことを実生活に生かそうとしている。

5 単元計画(全55時間)

次	時		学習内容	評 価			評価方法	
				知	思	主		
一	1 2	課題の設定	「川尻町のじまん」についてイメージマップにまとめる。 イメージマップや写真をもとに野呂山の自然環境についてどのようなことを調べていきたいか課題を設定し、学習の見通しをもつ。 野呂山の動植物について調べる方法についてまとめる。		○		野呂山の自然・環境について考え、課題を自ら設定し、学習の見通しをもっている。	行動観察 ワークシート
	3 4 5	情報の収集	野呂山の動植物について図鑑やインターネットなどで調べる。	・			野呂山の動植物について図鑑やインターネットなどで調べ、それらについての知識を身に付けている。	行動観察
	6 7	整理・分析	調べて分かったことを振り返り、野呂山の自然環境について自分たちができることを考える。		○		野呂山の自然環境について自分たちができることを考えている。	行動観察 ワークシート
	8 9		野呂山に生息する動植物について伝える方法や相手を決め、調べて分かった事を整理する。 野呂山の動植物について自分たちが伝えるべき情報を選ぶ。	○	・		野呂山に生息する動植物について分かったことを比較・分類し、整理している。 野呂山に生息する動植物について自分たちが伝えるべき情報を選んでいく。	情報整理カード 行動観察
	10		選んだ情報が目的に合った情報であるか、他に伝えるべき情報はないか分析する。		○		選んだ情報が目的に合った情報であるか、他に伝えるべき情報はないか根拠を明確にし、話し合っている。	ワークシート 行動観察
	11 12 13 14	表現・実行	野呂山に生息する動植物について新聞を作る。		○		相手に分かりやすい新聞を作っている。	新聞
	15 16		作った新聞をクラスで交流し合う中で、改善すべき点を見出し、改良する。 新聞を掲示し、発信する。			○	伝えたいことが伝わる新聞になっているかという視点で交流し合う中で、互いの改善点をアドバイスしたり、自分たちの新聞の改善点を見出したりしようとしている。	行動観察
	17 18	課題の設定	これまでの学習で学んだことを振り返るとともに、野呂山の環境問題について考え、課題を設定する。 野呂山ロッジの職員の方にインタビューする内容を考える。		・		野呂山の環境問題についての課題を設定し、野呂山ロッジの職員の方にインタビューする内容を考えている。	ワークシート

二	19 20	情報の収集	野呂山高原ロッジで野外活動し、職員の方から野呂山の自然環境についての話を聞く。	○		話を聞く中で、メモをとるなどして必要な情報を収集している。	行動観察 ワークシート	
	21 22		野外活動を振り返り、自分達の行動が環境に影響を与えることについて考える。 環境のために自分達に何ができるか考える。		・	自分達の行動が環境に影響を与えることについて考えている。	行動観察	
	23 24 25 26		食品ロスについてインターネットや給食の残食量を調べる。			○	食品ロスについてインターネットや川尻小学校給食の年間の残食量を調べようとしている。	行動観察 ワークシート
	27 28 29	整理・分析	分かったことを整理し、食品ロスをなくすことを伝えるために、自分達が伝えるべき情報を選ぶ。			○	分かったことを整理し、食品ロスをなくすことを伝えるために、必要な情報を選んでいる。	行動観察 ワークシート
	30 31 32 (本時)		選んだ情報が目的や相手に合った情報であるか分析する。			○	選んだ情報が目的、相手に合った情報か、他に伝えるべき情報はないか根拠を明確にし、話し合っている。	行動観察 振り返りシート
	33 34 35	表現・実行	自分たちの表現方法を考え、発表原稿や資料を作る。			○	野呂山の環境問題について相手に分かりやすい発表の原稿や資料を作っている。	発表原稿
	36 37		発表の練習を行い、互いに交流し合う中で、改善すべき点を見出し、改良する。 それぞれの相手に発表する。			○	伝えたいことが伝わる発表になっているかという視点で交流し合う中で、互いの改善点をアドバイスしたり、自分たちの発表の改善点を見出ししたりしようとしている。	行動観察
	38		伝えたいことを表現するために準備をし、表現する。			○	学んだことを基に自分達の伝えたいことを表現している。	発表
39	課題の設定	これまでの学びを振り返るとともに、身のまわりにある環境問題について自分たちが調べてみたいことを考え、課題を設定する。			・	これまでの学習を基に課題を自ら設定し、学習の見通しをもっている。	行動観察	
三	40	情報の収集	環境のために自分達に何ができるか考える。			・	環境のために自分達に何ができるか考えている。	行動観察
	41 42 43		環境問題について図書・インターネットなどで調べる。	○			環境問題について図書・インターネットなどで調べ、環境問題についての知識を身に付けている。	行動観察 ワークシート
	44 45	整理・分析	分かったことを整理し、地球環境を守ることを伝えるために、取り組むことや自分達が伝えるべき情報を選ぶ。			○	分かったことを整理し、自分達が選んだ環境問題について伝えるために、必要な情報を選んでいる。	行動観察 ワークシート
	46 47		選んだ情報が目的に合った情報であるか分析する。			○	選んだ情報が目的に合った情報か、他に伝えるべき内容はないか根拠を明確にし、話し合っている。	ワークシート 行動観察

48 49 50	表現・実行	発表原稿・資料を作る。		○	相手に分かりやすい発表の原稿や資料を作っている。	発表原稿
51 52		発表の練習を行い、互いに交流し合う中で、改善すべき点を見出し、改良する。 それぞれの相手に発表する。		○	伝えたいことが伝わる発表になっているかという視点で交流し合う中で、互いの改善点をアドバイスしたり、自分たちの発表の改善点を見出したりしようとしている。	行動観察 ワークシート
53 54		伝えたいことを表現するために準備をし、表現する。		○	学んだことを基に自分達の伝えたいことを表現している。	発表
55	振り返り	自分達の学びを振り返る。		○	自分達ができるようになったことや地域について学んだことを振り返り、実生活に生かそうとしている。	ワークシート

6 本時の学習（本時 32 / 55）

(1) 本時の目標

選んだ情報が目的や伝えたい相手に合うものか分析することができる。

(2) 本時の学習展開

	学習活動	指導上の留意点	評価規準 【観点】 (評価方法)
つかむ	1 これまでの学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> 「給食の残食量を減らすことを伝えたい」ということを確認する。 	
	2 本時のめあてとプレゼンテーションの目的を確認する。		
考える	選んだ情報が目的や伝えたい相手に合うものか考えよう。 (プレゼンテーションの目的：食品ロスを減らす。)		
	3 グループの発表を聞く。 (相手：高学年・野呂山ロッジ)	<ul style="list-style-type: none"> クラスを2つに分けてそれぞれで発表させる。発表の際、発表者は黒板やホワイトボードに伝えたい情報、テレビにそれに合った資料を提示させる。 発表の相手を明確にした上で、なぜその情報を選んだのか、また選ばなかったのか理由を明確にして発表する。 聞き手には、発表者が示した情報と同様の拡大した資料を配布し、交流しやすくする。また、付箋にメモを書かせながら聞かせる。 	
深める	本当にこれで食品ロスに対する相手の意識を変えることができるのか。		
振り返る	4 目的に合った情報であるかグループで分析をする。	<ul style="list-style-type: none"> 交流を円滑に進めるために司会者を設ける。また、グループ内で分析する時間をとることで、全ての児童が主体的に学習に参加できるようにする。 タブレットを使って、選んだ情報や選ばなかった情報を共有することで分析しやすくする。また、追加変更の方がよい資料について各自タブレットで見せ合いながら交流させる。 	

	<div data-bbox="306 165 513 241" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;"> <p>分析の観点</p> </div> <div data-bbox="386 250 1187 421" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・選んだ情報で目的を達成できるか。(なくてもよいもの・さらに加えるべきもの・一緒にすべきもの) ・選んだ情報が相手に合っているか。 </div> <div data-bbox="220 448 769 1025" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p><予想される児童の反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食の残食量はグラフにするともっと分かりやすいと思うよ。 ・作っている人の思いを入れると食べる人も食べ切ろうと思えると思うよ。それを動画でとってもいいと思うよ。 <p><予想される新たな問い></p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラフはどんなグラフが分かりやすいかな。 ・作っている人の思いを伝えるために動画を撮って見せた方が伝わりやすいかな。 </div> <div data-bbox="268 1066 590 1102" style="margin-top: 10px;"> <p>5 振り返り、まとめる。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・選んだ情報が伝えたいこと(目的や相手に合った)情報であるか, 提示した視点を基に分析し合う。 ・意見が分かれた場合は, もう一度グループに戻して対話させることで深く思考させる。 ・発表グループは分析後, 変更点等をそれぞれ書き加えさせる。 <div data-bbox="810 1066 1260 1151" style="margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・発表グループは分析し, 気付いたことについてまとめる。 </div> <div data-bbox="810 1164 1260 1344" style="margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き手は, 目的や相手に合わせて分析することができたか, また, 分析をして気付いたことは何か, という視点で振り返らせる。 </div>	<p>選んだ情報が目的, 相手に合った情報か, 他に伝えるべき情報はないか根拠を明確にし, 話し合っている。</p> <p>【思・判・表】 (行動観察) (振り返りシート)</p>
--	---	---	--

(3) 板書計画

<p>KCGs ～川尻を 変える 目標～</p>	
<p>選んだ情報が目的や伝えたい相手に合うものか考えよう。</p>	
<p><伝える内容></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>① _____</p> <p>② _____</p> <p>③ _____</p> <p>④ _____ (書き加えた内容)</p> </div>	<p><資料> (テレビ)</p> <p>① _____</p> <p>② _____</p> <p>③ _____</p>
<p><分析の観点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・選んだ情報で目的を達成できるか。(なくてもよいもの, さらに加えるべきもの, 一緒にすべきもの) ・選んだ情報が相手に合っているか。 	<p><振り返り></p> <ul style="list-style-type: none"> ・他のグループの内容を分析の視点に合わせて分析できたか。 ・分析して気付いたことはないか。

1 「本質的な問い」による単元構想について

- 本単元の本質的な問いに対して、児童は自分事として捉え、単元を通して自己の考えを深めることができた。特に、第二次の学習からSDGsの考え方を基に、対話を重視した学習活動を展開したことや、児童にとって身近である野呂山を題材に取り上げることで、児童が「環境のために、自分達に何ができるだろう。」という思考の流れに沿った計画で進めることができたことが効果的であったと考える。

2 単元で育成を目指す資質・能力について

【知識・技能】

- 事後アンケートによると、96%の児童が、情報を比較し分類することが出来たと答えた。グループや全体での話し合いを繰り返すことを通して、児童の中に分類の視点が明確化されていったと考えられる。

【思考・判断・表現】

- 児童アンケートでは、「収集した情報を整理・分析し、必要な情報を選択することができたか」について77%の児童が肯定的な回答を示した。情報を整理・分析する際、分析の観点（選んだ情報で目的を達成できるか。選んだ情報が相手にあっているか。）を明確にして話し合わせ、しっかり吟味させた結果だと考えられる。
- 一方、23%の児童が否定的な回答を示した。理由として、「分析を行う時、明確な理由を言うことができなかった。」「グループの話し合いについていけなかった。」などの意見があった。原因として、それらの児童は、自分の中にある情報同士を関連付けて思考することが苦手な児童である。これからも本単元のような情報を分析するような経験を積んでいく必要があると考えられる。また、児童が全体で話し合う際、児童が司会進行を行った。そのため、多くの考えが出る中で、その考えを整理することが難しかった。より深い学びにするために、思考を深めるポイントとなるころでは、教師が話し合いに入りファシリテートする必要があると考える。

【主体的に学習に取り組む態度】

- 「環境のために自分達にできることを考え生活の中で生かすことができたか」について事後アンケートでは、97%の児童が肯定的な回答であった。学習を通して、環境を良くするために自分自身の生活を振り返り、少しでも自分達の生活を変えようとする意識を高めることができた。

児童の振り返りより

- ・自分達が残した食べ物が大きな環境問題に繋がっていくことを初めて知りました。これからは、給食で余りが出ないようにしっかり食べて食品ロスをなくしたい。
- ・自分達の行動が身近な野呂山の自然を守ることに繋がる事を知り、学校だけでなく家でも取り組みたいと思いました。

3 「デジタル機器」の活用

- グループや全体の話し合いの場において、自分達が収集した資料をロイロノートの資料箱に集約することで、整理分析の際、複数の資料と自分達が選んだ資料を比較することが容易にできた。